

「奈良県における正社員の求人状況」

情報提供：奈良労働局

有効求人倍率(季節調整値)

	19年2月	3月	4月	5月	6月
全国	1.05	1.03	1.05	1.06	1.07
奈良県	0.84	0.86	0.84	0.81	0.80

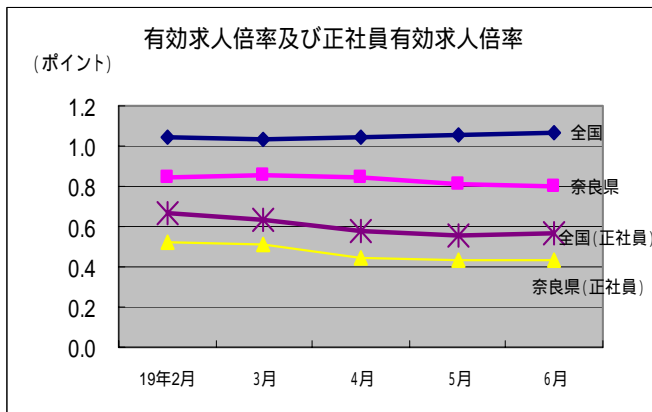
正社員有効求人倍率(実数値)

	19年2月	3月	4月	5月	6月
全国	0.67	0.63	0.58	0.56	0.57
奈良県	0.52	0.51	0.45	0.43	0.43

正社員有効求人倍率

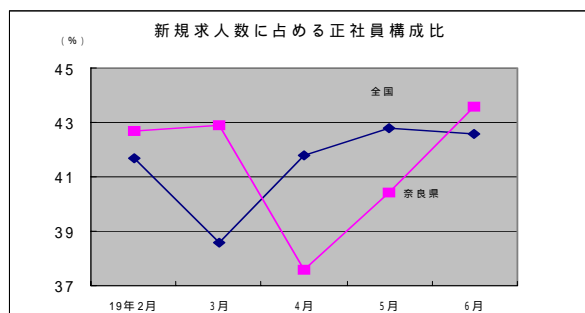
= 正社員有効求人数 / 常用フルタイム有効求職者数

なお、常用フルタイム有効求職者数にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

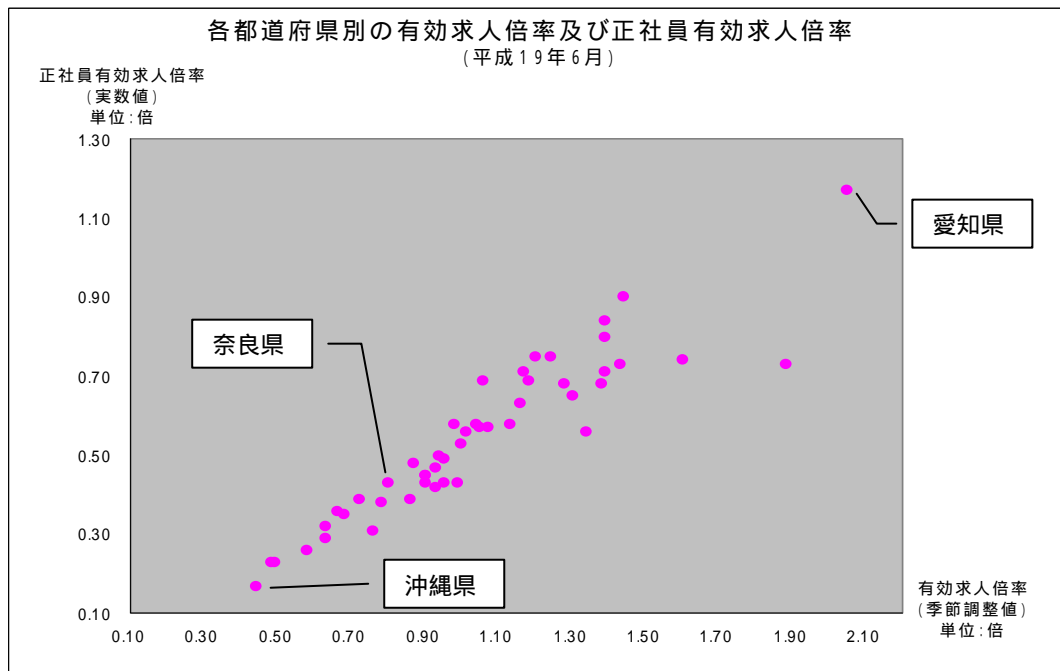


新規求人数に占める正社員構成比

	19年2月	3月	4月	5月	6月
全国	41.7	38.6	41.8	42.8	42.6
奈良県	42.7	42.9	37.6	40.4	43.6



< 各都道府県の状況 >



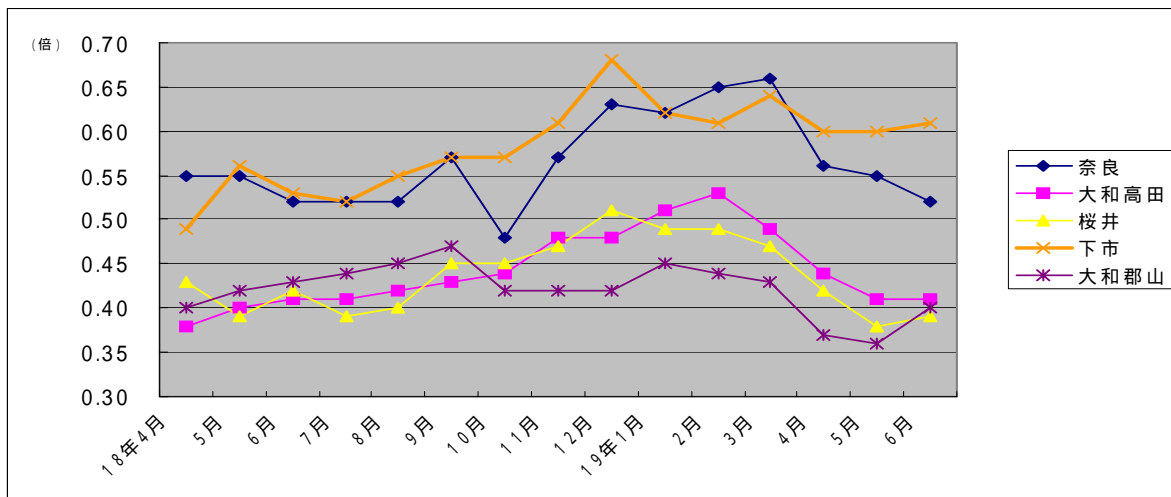
正社員の有効求人倍率のポイント

- ・正社員の有効求人倍率(平成19年6月)は、全国が0.57倍、奈良県が0.43倍となっており、最近の動向を見ると、全国・奈良県とも、減少傾向にある。
- ・なお、本県の正社員の有効求人倍率を他の都道府県と比べた場合、全体の有効求人倍率が0.80倍からすると、比較的高い倍率となっている。

【公共職業安定所別正社員有効求人倍率と有効求人倍率の推移】

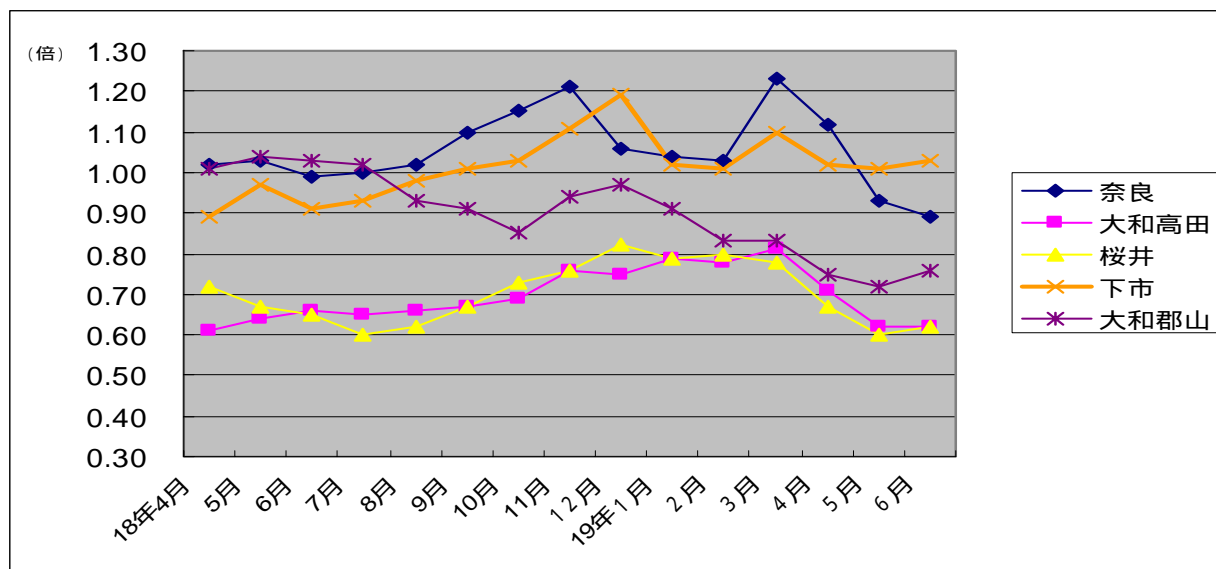
正社員有効求人倍率

	18年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月
奈良	0.55	0.55	0.52	0.52	0.52	0.57	0.48	0.57	0.63	0.62	0.65	0.66	0.56	0.55	0.52
大和高田	0.38	0.40	0.41	0.41	0.42	0.43	0.44	0.48	0.48	0.51	0.53	0.49	0.44	0.41	0.41
桜井	0.43	0.39	0.42	0.39	0.40	0.45	0.45	0.47	0.51	0.49	0.49	0.47	0.42	0.38	0.39
下市	0.49	0.56	0.53	0.52	0.55	0.57	0.57	0.61	0.68	0.62	0.61	0.64	0.60	0.60	0.61
大和郡山	0.40	0.42	0.43	0.44	0.45	0.47	0.42	0.42	0.42	0.45	0.44	0.43	0.37	0.36	0.40



< 参考 > 有効求人倍率(原数)

	18年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月
奈良	1.02	1.03	0.99	1.00	1.02	1.10	1.15	1.21	1.06	1.04	1.03	1.23	1.12	0.93	0.89
大和高田	0.61	0.64	0.66	0.65	0.66	0.67	0.69	0.76	0.75	0.79	0.78	0.81	0.71	0.62	0.62
桜井	0.72	0.67	0.65	0.60	0.62	0.67	0.73	0.76	0.82	0.79	0.80	0.78	0.67	0.60	0.62
下市	0.89	0.97	0.91	0.93	0.98	1.01	1.03	1.11	1.19	1.02	1.01	1.10	1.02	1.01	1.03
大和郡山	1.01	1.04	1.03	1.02	0.93	0.91	0.85	0.94	0.97	0.91	0.83	0.83	0.75	0.72	0.76



公共職業安定別の正社員の有効求人倍率のポイント

- ・大和高田公共職業安定所については、全体の有効求人倍率が低いことからすると、正社員の有効求人倍率はそれほど低い数値ではない。
- ・逆に、大和郡山公共職業安定所は、全体の有効求人倍率がそれほど低くないにもかかわらず、正社員の有効求人倍率は低い数値となっている。